

○…水俣病問題での社会党の西島議員と寺本知事の応酬は、ちよつとした迫力だった。

県会記者席

この問題で寺本知事は、被害者である患者を守ってやらねばならぬのはもとより、加害者であるチツソに對しても、角をためて牛を殺す、ようなことの出来ない微妙な立ち場にある。

その微妙な立ち場のせい

か、寺本知事の答弁は「チツソの代弁」と西島議員に受け取られ、「知事はチツソの言うのをまる飲みにしとる」とさんさん食いつかれた。

○…論戦の後半、「あなた

水俣病は「学問の遅れ」

いなかろうが、それでも、サ

はチツソの番頭だ」と西島議員に毒づかれるに及んで、寺本知事の顔面は紅潮、「公害の学問が進歩していなかったから水俣病が起きたんだ」た。

「あなたのような論議では水

(M)